

120年の軌跡

5

このコーナーでは、宇都宮の120年の歩みを年表と写真で紹介します。

昭和16～22年



◀いち早く復興したパンパ仲見世 昭和24年(1949年)には、アーケードが架かりました。両側には映画館が立ち並び、市内で最もにぎわいました。

宇都宮市年表

西暦	昭和	主な出来事
1947	22	▽市役所を県公会堂に移転 ▽キヤサリン 台風により大被害(流失家屋1105戸、死亡1171人、負傷517人、浸水家屋5000戸、流失橋6カ所)
1946	21	▽復興祭を挙行政 ▽市制施行50周年記念祝賀式を挙行政 ▽戦災復興が進む(住宅65000戸≡75%、街路≡42%)
1945	20	▽米軍の空襲を受け市庁舎をはじめ、9178戸焼失、521人死亡、1128人が負傷という大被害を受ける ▽市役所は南国民学校(現一条中学校)に移転
1943	18	▽警戒警報がたびたび発令される
1942	17	▽市内に初めて空襲警報発令 ▽平石村「峰」を、市に編入(人口9万377人、戸数1万8884戸となる)
1941	16	▽小学校を国民学校と改称 ▽鉄製品の回収始まる

▶戦災に負けずに残った大イチョウと松が峰教会 旭町の大イチョウは樹齢40年、戦災に負けずかろうじて残りました。写真は終戦直後のもので松が峰教会も見えます。



はつらつ宮っこ

今、輝いている市民

人々の心へ届けたい
研究を重ねつかんだ金賞

宇都宮短期大学附属中学校 村上 志乃さん



「応援してくれる人たちの期待に応えようと思った。金賞で名前を呼ばれた時、驚きと嬉しさで思わず叫ぶほどだった」と話す村上さん。3月に行われた第18回日本ジュニア管打楽器コンクールのマリンバ部門・中学生コースで見事、最高賞の金賞を受賞しました。



兄の影響で3歳の時にマリンバを始め、昨年、全国規模のコンクールで初めて金賞を受賞。「なかなか受賞できない、レベルの高い賞を獲得したことが励みになった。昨年から、より集中して練習できるようになり、今回、2度目の金賞につながった」と話します。

「賞を取ることよりも、歌うように弾くことや、演奏を魅せることを意識している」と、自分の演奏を録音したり、演奏姿を撮影したりと研究を重ねる村上さん。「こんなに自己分析をしている人はいないので」と笑います。

「今回の結果に満足せず、これからも挑戦を続け、応援してくれる人、評価してくれる人を考えた演奏をしていきたい」と、真つすがな思いをマリンバに乗せて、その挑戦は続きます。